

# Kyoto Hollywood News 京都ハリウッド通信

## 政治家の次は三度警察関係者!?! 沢口靖子・人気シリーズ第3弾 「科捜研の女」

沢口靖子主演・東映京都撮影所製作の人気シリーズ「科捜研の女」第3弾は毎週木曜日午後8時よりテレビ朝日系にて11月1日より放映



沢口靖子主演の好評シリーズ「科捜研の女」パート3が11月1日よりテレビ朝日系にて放映スタート。「科捜研の女」は東映京都撮影所の製作で、小林念侍、内藤剛志、星由里子らお馴染みのレギュラーも顔を揃えてバワーアップ。京都府警・科学捜査研究所の法医学研究員・榊マリコ(沢口靖子)の活躍を描く。今回の具体的な特色としては

- ① 事件の解決方法を分かりやすく見せるため「再現」もしくは「実証」シーンを必ず取り入れる。
- ② 「科捜研」の中の法医、物理、化学、文書鑑定担当といった役割を明確にし、登場人物のキャラクターを鮮明に描き出す。
- ③ ヒロイン・マリコの母親が登場させ、マリコの私生活に広がりを持たせる。
- ④ 京都の風光明媚な場所を背景に京都独特の職人などを登場させ、ドラマに厚みを持たせて行く。
- ⑤ 刑事捜査と科学捜査の区別を際立たせ、マリコと小林念侍演じる木場刑事の対立軸を鮮明にしていける。第1シリーズに登場したマリコの元亭主(渡辺いっけい)を再登場させ、30代女性の心情をきめ細かく描き出して行く予定になっている。放映は毎週木曜日午後8時よりテレビ朝日系にて。



榊マリコ(沢口靖子)

京都府警科学捜査研究所の法医学研究員。独特の強い感性の持ち主で、ヒラメキは天才的。だが融通の利かない性格で、現場の刑事とはしょっちゅう衝突している。パツパツで現在は京都の町家暮らし。一人で気楽に住んでいる所に母親が押し付けて来て、母娘の口論が絶えない毎日。



木場俊介(小林念侍)

京都府警捜査一課のベテラン刑事。科学捜査を頭では理解しているが、自分の経験と勘に基づく捜査に絶対の自信を持っている。マリコとの間には常に一定の緊張関係がある。



武藤要(内藤剛志)

元はFBIのプロファイラー。現在は科捜研を辞め、自身の体験談を執筆した本を出版しベストセラー作家となっている。その仕事の合間にマリコと口論に。性格は社交的で誰ともすぐに打ち解ける。



榊いずみ(星由里子)

マリコの母親。夫婦喧嘩の果てに家を飛び出し、マリコの所に転がり込む。疲れて帰って来るマリコに仕事を辞めろだの再婚しろだのと口うるさく言うのでマリコと口論に。性格は社交的で誰ともすぐに打ち解ける。

### 市川崑監督 「かあちゃん」 モントリオール映画祭功労賞受賞!

市川崑監督の最新作「かあちゃん」が9月23日からカナダのモントリオール市で開催された第25回モントリオール国際映画祭で、功労賞を受賞した。「かあちゃん」は市川崑監督の75年目の作品で、山本周五郎の同名原作を市川夫人の故・和田夏十が生前に書き残した脚本を元に映画化。撮影は松竹京都映画撮影所で行われた。市川監督は体調を崩して出席出来ず、代わりに主演の岸恵子が受賞式でトロフィーを拝受した。出演は岸恵子、原田龍二、うじきつよし、石倉三郎、宇崎竜童、コロツケ、仁科貴、尾藤イサオ、常田富士男、小沢昭一他。タイトルバックに使用される和田誠のイラストも素晴らしい「かあちゃん」は11月、全国東宝洋画系劇場でロードショー。



勇吉(原田龍二)は泥樽に入った家でおかつ(岸恵子)に諭される。

#### STORY

時は天保末期。貧乏長屋に住むおかつ(岸恵子)とその家族総勢6人は働き詰め。近所の付き合いもそこそこに金を貯め込んでいたので、「ケチ」「金の亡者」と罵られていた。そんなある晩、おかつの家に勇吉(原田龍二)が泥樽に入る。勇吉に気付いたおかつは怯む事なく、どうしてもこの金が必要なら、この金の意味を聞いてからにしろと、事情を語り始める。おかつたちが近所に罵れながら金を貯めていたその訳とは…?

# 日本最長寿ドラマ「部長刑事」

## シリーズ最新作 「警部補マリコ」 絶賛放映中!

部長刑事シリーズ初の女性警部補誕生。宮崎美子演じる望月真利子警部補が数々の困難を乗り越えて行く姿を描く。毎週土曜日・午後6時半・朝日放送にて放映



昭和33年にスタート以来、42年という驚異的な放送年月を誇る朝日放送の看板番組「部長刑事」シリーズの最新作が「警部補マリコ」(毎週土曜日・午後6時半・朝日放送)だ。何となく、今回は小生がメインライターとして設定から第1話の脚本を担当。15代目となる今回の部長刑事を演じるのは宮崎美子で、シリーズ初の女性警部補となる。物語は望月真利子警部補(宮崎美子)が大阪府警生活安全部特別班で数々の困難に翻弄されつつもそれを乗り越え、活躍する姿を描く。真利子は大阪府警の中でも有名

なやり手の刑事である一方、夫と一人の娘を持つ主婦で、そこらへんにいる気のおバチャンという親しみやすいキャラクターの持ち主。次々に襲い来る難事件にも、マニュアルに捕らわれず独自のやり方で乗り越えて行く。共演はベテラン声優小堀、歌手だけでなく女優としても活躍する森川美穂、NHKの連続テレビ小説「あすか」でブレイクした榎田実穂、あいはら友子、正司花江らが脇を固める。宮崎美子は初めての刑事ドラマに「制服を着るのを楽しみにしています」とやる気充分。



### 今月の言葉

かなりハードな日々気分も憂鬱。しかし仕事に興味の小生は気分転換もままならず陰々鬱々。そんな中、メインライターを務めた「警部補マリコ」も無事放映、企画・構成を担当したDVD「怪・陰陽師安倍晴明」も売れ行き好調、やはり企画・構成を担当し、9月にスカパーで放映された「必殺大特集」も好評という朗報にホッと一息。

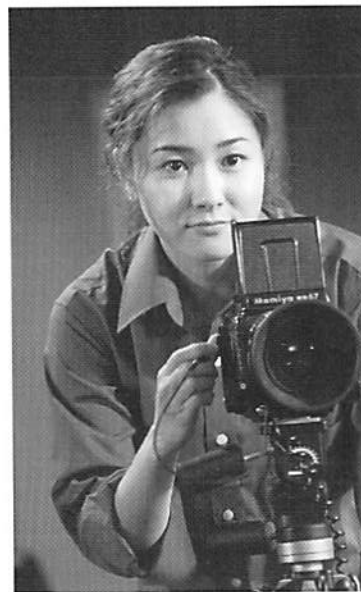
2001年11月1日  
山田誠二

責任編集人 山田誠二

1963年生まれ。京都を拠点に、映画のプロデューサー、脚本、評論など多方面で活躍の作家。映画関連著作多数執筆。

京都市が京都を舞台にした映画の製作費の助成金を交付する「京都シネメセナ」第3回作品「アイ・ラヴ・フレンズ」が第3回京都映画祭のお披露目を経て、いよいよロードショー公開される。本作の主人公であるろう者のカメラマン・美樹を演じる忍足亜希子は実際のろう者でありながら、ハンダイキャップに負けずテレビドラマやCMモデルで活躍、写真集も発売され、前作「アイ・ラヴ・ユー」の演技で毎日映画コンクール新人賞を受賞。これからが期待の女優だ。監督は「遠かなる甲子園」「GAMA〜月桃の花」「アイ・ラヴ・ユー」等、社会的な作品を数多く手掛けた大澤豊。共演は萩原聖人、藤田朋子、石倉三郎、田村高廣ら。記者会見の席上、田村は「故郷の京都で仕事が出来るのが嬉しい。映画のフィルムは撮影現場の雰囲気まで写ると言われていますので頑張ります」とやる気満々。藤田は「シナリオを読んで泣きました。この映画を見たら優しい気持ちになれると思います。手話で忍足さんとヒソヒソ話が出来るといいなりたい」と語り、最後に主演の忍足は「聞こえる聞こえないにかかわらず、自分のありのままを表現出来ればと

思います。手話は特別のものではなく、お互いにいい付き合いをするためのもの。撮影でもろう者と聴者がお互いに影響しあってやれたら」と手話で結んだ。「アイ・ラヴ・フレンズ」は京都朝日シネマ(10月27日~11月9日)、祇園会館(11月11日~11月23日)公開。



京都市民が製作参加の映画  
「アイ・ラヴ・フレンズ」  
特選のロードショー

ろう者の美樹(忍足亜希子)は夫を亡くし、息子と義妹との3人暮らし。美樹は京都の町並みや人々を撮影するある日、交通事故で子供を死なせ、罪の意識に苦しむ青年・柴田(萩原聖人)と出会う。事故以来、役に閉じこもって人との関わりを避けよとすすめる柴田だが、不思議な力によって美樹との距離は縮まって行く。

### STORY

美しい古都・京都を舞台に、ろう者の女性写真家が愛する人、町、自然と、主演の忍足(おしだり)亜希子は実際のろう者で、テレビや雑誌、映画で幅広い活躍をする期待の女優だ

## TOPIC

### 「千年の恋 ひかる源氏物語」 京都試写会ツアー

12月の全国公開を控えて米ロサンゼルスでのプレミア上映に続き、11月7日に新幹線の団体専用列車を借り切り、京都での試写会ツアーを開催。製作費14億円、東映創立50周年記念作品に注目が集まる。



### NHK金曜時代劇 「五瓣の椿」

9月11日より松竹京都映画でNHK金曜時代劇「五瓣の椿」が撮影されている。原作は山本周五郎。出演は国仲涼子、阿部寛、堺雅人、及川光博、竹中直人、江守徹、秋吉久美子、奥田瑛二、時は江戸・天保年間。菱間屋「むしし屋」の娘・おしの(国仲)は父を裏切り浮気さんまの母親と、その浮気相手に、父の死を契機に復讐を開始する。11月23日より毎週金曜・NHK総合にて9時15分より放映(23日のみ9時より)。

### テレビ東京 「壬生義士伝」

先月既報のテレビ東京の10時間時代劇「壬生義士伝」のゲスト出演者が決定。高島礼子、内藤剛志、竹中直人、大鶴義丹の他、モーニング娘。の安倍なつみらが出演。

### 朝日放送 「サントリーミステリー大賞」

朝日放送とサントリーが主催する「サントリーミステリー大賞」受賞作「時の者」が近々、松竹京都映画撮影所で撮影開始のため準備中。